

平成28年度 歯科保健推進協議会
における検討委員会の報告及び
「歯っぴー^{サンキュー}39チャレンジ」の取り組みについて

平成28年度 検討委員会の報告

日時:平成29年2月24日(金)14時～15時半

場所:熊本市役所駐輪場8階会議室

議題:子どものむし歯予防対策の実施状況と今後の取り組みについて

(1)「熊本市歯っぴー39チャレンジ」の今後のスケジュールについて

出席者:逢坂、古閑、高松、竹田、土屋、中山、前田、宮本 8名 (五十音順・敬称略)

【検討委員会の構成メンバー】

【委員】8名

- | | | | |
|---------|-----------|----------------|---------|
| 1.熊本大学 | 2.市医師会 | 3.市歯科医師会 | 4.市薬剤師会 |
| 5.県看護協会 | 6.県歯科衛生士会 | 7.8020 健康づくりの会 | |

【関係課】

- | | | |
|--------------|-----------------|---------------|
| 1.保育幼稚園課 | 2.子ども支援課 | 3.子ども発達支援センター |
| 4.各区役所保健子ども課 | 5.健康づくり推進課(事務局) | |

<各委員からの意見>

- ・医師会の協力のもと、産婦人科で歯科啓発リーフレットを配布していただきたい。
- ・産婦人科でのむし歯予防啓発ポスター掲示と、無料歯科健診券付き啓発カードの配布を市医師会で協力する。
- ・全ての会員薬局に無料歯科健診券付き啓発カードを設置し、声かけして配布予定。
- ・歯と全身の関係性を理解して頂くように歯科医師会の先生にお話して頂きたい。
- ・子育てサークルで歯科啓発ができるよう、主任児童委員に8020推進員になってもらえたらいいと思う。
- ・園内掲示板での歯科啓発資料を貼付し、保護者と職員へ啓発する。
- ・園長会議において熊本市の状況を説明し、全園対象にむし歯予防啓発を計画中。
- ・新入園児を対象として各幼稚園で歯科啓発資料を配布できる。年に2～3回保護者対象に実施している講話の中に歯科の内容を入れるように保護者と話を進めたい。
- ・妊娠中や子育て中の方へ母子感染やタバコの影響等も含めて歯科教育している。
- ・影響力を考えると、保育園・幼稚園の園長先生や保護者への啓発だと思う。保育園や幼稚園での歯のキャンペーン等を1日だけでなく、一定期間実施したり、歯科講話を歯科医師会へ依頼して教育を深めたりする事も大事だと思った。2歳や2歳半の節目にモチベーションを持って頂く機会を設けたら良いと思う。やはり、年少への教育と妊婦への教育も必要である。

平成28年度「^{サンキュー}熊本市歯っぴー39 チャレンジ」の取り組み

平成34年度までにむし歯のない3歳児を9割に増やすため「^{サンキュー}熊本市歯っぴー39 チャレンジ」とのスローガンを掲げて関係団体と連携し、以下の12項目のむし歯予防に取り組んだ。

(1) 胎児期及び妊娠期

<行政>

①指導媒体などを活用して歯科保健指導内容の充実を図った

妊婦健診やもうすぐパパママ教室等において、むし歯菌の感染や子どものむし歯予防へ理解が深まるような情報提供に努めた。

②無料歯科健診券付き啓発カードの配布（妊婦の家族対象）

妊婦健診やもうすぐパパママ教室等において、親から子へのむし歯菌の感染予防と「かかりつけ歯科医」での継続した予防管理を受ける習慣の定着を図るため、無料歯科健診券付き啓発カードを配布

<関係団体・機関>

【熊本市歯科医師会】

③産婦人科における妊婦への歯科健診受診勧奨に関するチラシの作成・配布

歯周病と早産の関係性などがわかる資料を産婦人科で配布してもらい、妊娠中に歯科健診を受ける妊婦が増える取り組みを実施した。

(2) 乳幼児期

<行政>

④満1歳おめでとうカードの郵送

市役所から郵送するお誕生日お祝いカードに「むし歯に気をつけて」と注意喚起を促す記載をし、仕上げ磨きの習慣化や哺乳瓶使用の注意などの情報提供を実施。

⑤指導媒体などを活用して歯科保健指導内容の充実を図った

1歳6か月児及び3歳児歯科健康診査、育児サークル等において子どものむし歯予防へ理解が深まるような情報提供に努めた。

⑥無料歯科健診券付き啓発カードの配布

市歯科医師会の協力のもと、「無料歯科健診」が実施できる歯科啓発カードを作成し、関係団体と連携し、親から子へのむし歯菌の感染予防と「かかりつけ歯科医」での継続した予防管理を受ける習慣の定着を図り、子どものむし歯を予防するために配布する。

<配布先>

調剤薬局やコンビニエンスストア、市役所や区役所窓口、1歳6か月児及び3歳児歯科健康診査時、地域イベントなど

⑦地域歯科保健研修会の開催

演題:「多職種連携で始める子どものむし歯予防!」～小児科医の立場より～

講師:小児科・内科 杉野クリニック院長 杉野茂人 氏 (熊本県小児科医会会長)

実施日:平成 29年3月9日(木) 19:00～20:30

場 所:熊本市役所駐輪場8階 会議室

参加者:73 人 (医師、歯科医師、薬剤師、看護師、助産師、保育士、保健師
養護教諭、歯科衛生士、歯科技工士、8020 推進員)

*講師の提言

市内では「7ヶ月健診」で小児科を受診するので、その時にむし歯予防に関する情報等を掲載したリーフレットを保護者に渡せるようにしてはどうかとのご提案を頂いた。

<関係団体・機関>

【熊本市歯科医師会】

⑧無料歯科健診の実施

市民への歯科保健意識の向上を図るため、会員歯科診療所における無料歯科健診へ協力するとともに、会員への事業周知を図り、円滑な実施を促した。

【熊本市医師会】

⑨小児科医を対象とした研修会の開催

市医師会が、小児科医対象の研修会の中に「むし歯予防」をテーマとした講義内容を追加し、歯科医師がむし歯予防に関する情報を提供する場を設定された。

受講した医師からは、「熊本市がむし歯が多いことを知らなかった」、「受診した子どもの喉を見る時に口の中も見ていこうと思った」、「もっとむし歯予防の事も知らなくてはいけないと感じた」等のご意見をいただいた。

【熊本市薬剤師会】

⑩無料歯科健診券付き啓発カードの配布

市薬剤師会加入の調剤薬局など(340ヶ所)に配布台を設置し、薬剤師が一言声かけて配布する。

【熊本市保育園連盟】

⑪保育園における歯科啓発

定例園長会議における歯科保健推進協議会の報告とともにフッ化物洗口事業の推進の協力と園内掲示板等での保護者に対するむし歯予防の啓発に協力。

(掲示物:むし歯予防はスタートが大切(乳歯編)、フッ化物はむし歯予防の強い味方)

【熊本県歯科衛生士会】

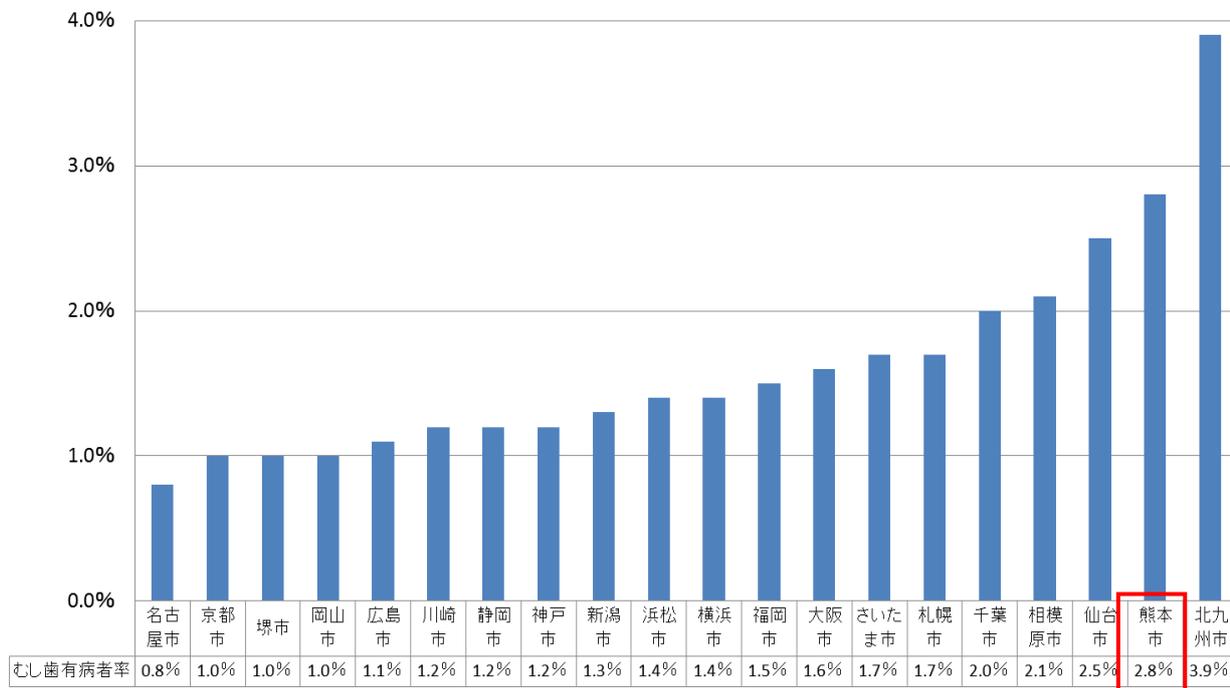
⑫地域における歯科健康教育の実施

乳幼児と保護者対象にむし歯予防講話を実施し、早期からのむし歯予防を啓発した。

■1歳6か月児のむし歯有病者率（政令市比較）

平成28年度においても政令市の中で2番目にむし歯が多い結果となった。

1歳6か月児 むし歯有病者率

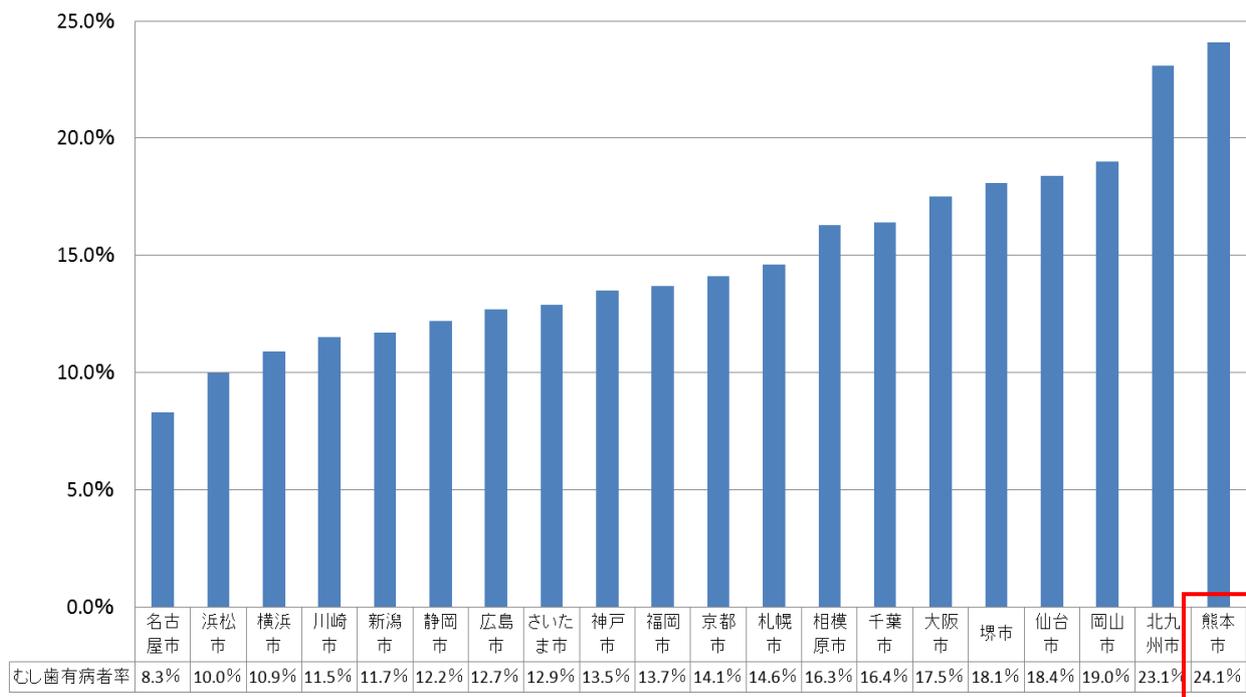


出典：全国乳幼児歯科健診結果

■3歳児のむし歯有病者率（政令市比較）

平成28年度においても政令市の中で1番むし歯が多い結果となった。

3歳児 むし歯有病者率



出典：全国乳幼児歯科健診結果

平成29年度「^{サンキュー}熊本市歯っぴー39 チャレンジ」の新たな取り組み

平成28年度の取り組みに加えて、関係団体と連携し、新たに以下の11項目のむし歯予防に取り組んでいる。

(1) 胎児期及び妊娠期

<行政>

① 産婦人科における妊婦への歯科健診の受診勧奨の充実

<関係団体・機関>

【熊本市医師会】

② 産婦人科における妊婦への歯科健診受診勧奨に関するリーフレットの作成・配布

(2) 乳幼児期

<行政>

③ 無料歯科健診券付き啓発カードの配布先の拡大

<関係団体・機関>

【熊本市医師会】

④ 小児科における「7ヶ月健診」受診者へのむし歯予防リーフレットの配布（資料3）

⑤ 無料歯科健診券付き啓発カードの配布

小児科を標榜する内科（111ヶ所）などに配布台を設置して配布する

【熊本市保育園連盟】

⑥ 保育園全園に配布される広報誌にむし歯予防の記事を掲載し、職員や保護者へ歯科啓発を実施

保育園全園に配布する広報誌「市保育園連盟だより」7月号に特別寄稿として表紙にむし歯予防の必要性と「歯っぴー39 チャレンジ」の取り組み紹介について記事を掲載していただき、保護者と園職員へ歯科啓発を実施した

⑦ 保育園の看護師対象研修会の内容に「むし歯予防」をテーマとして企画・実施予定（平成29年10月12日 午後～）

⑧ 保育園の職員や保護者へむし歯予防教育を実施

【熊本私立幼稚園・認定こども園協会】

⑨ 幼稚園・認定子ども園の職員や保護者へむし歯予防教育を実施

⑩ 幼稚園・認定子ども園における新入園児対象への歯科啓発

【8020健康づくりの会】

⑪ 主任児童員に8020健康づくりの会への協力依頼を実施

校区子育てサークルを運営する主任児童員への8020育成講座への参加呼びかけを実施